

# 令和7年度小学校教科教育推進研修（国語科）研修成果物

指導者 東広島市立中黒瀬小学校 榎 菜歩  
第2学年1組 35名

- 1 単元名 ビーバーのひみつをつたえよう  
「ビーバーの大工事」（東京書籍 「新編新しい国語 二下」）

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語第1学年及び第2学年の〔思考力、判断力、表現力等〕オの指導事項「文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。」を受けて設定している。

「文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ」力を育成するには、ビーバーの体の特徴がダムづくりにもどのように役立つのかを読み取った上で、既存の体験と結び付けて自分の考えをもち、表現することが必要となる。

本単元で扱う教材文「ビーバーの大工事」は、ビーバーの巣作りについて、体の構造や機能と関連させて説明した文章である。児童は、まず題名や扉絵に引きつけられ、ビーバーの「ひみつ」を見つけていくことに興味をもって読み進めることができる。「木を切り倒すビーバー」「ダムを作るビーバー」「巣を作るビーバー」の3つのまとまりから構成されている。また本文に沿った写真や挿絵があり、擬態語や擬声語が効果的に用いられ、児童が具体的にイメージしながらビーバーの行動や体の特徴を読み取ることができる。こうした具体的なイメージをもつことで、児童は自分自身の体験や他の動物について知っていることなどと結び付けて文章の内容を解釈し、理解を深めることができ、文章の内容に対して思いをもつことができるであろう。

### (2) 児童観

本学級の児童は、1学期に説明的な文章「たんぼぼ」を読み、「時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えること」及び「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと」、説明的な文章「どうぶつ園のかんばんとガイドブック」を読み、「事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えること」を学習している。

「時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えること」に関しては、教材文中にある時間的な順序を表す言葉に着目しながら、文章全体の内容を大づかみに把握することがおおむねできるようになってきた。一方で、「事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えること」については、異なる二つの文章を比べ、文種の違いを踏まえつつ、文章を構成している要素に着目して文章全体の内容と各段落など部分の内容を大づかみに捉えることには課題が見られた。

「文章の中の重要な語や文を選び出すこと」に関しては、「たんぼぼ」の単元末テストでの該当の力を問う設問において80点以上取ることができた児童は87%いた。しかし、学習中の児童の様子から、文章を読む目的を意識しながら、重要な語や文を考えて選び出す力が十分に付いているわけではないと捉えている。

また、自分の思いや考えを文章にすることに苦手意識をもっている児童が多い。このことから、そもそも思いをもつことに課題がある児童が少なくないと考えられる。そして、文章の内容と自分の体験とを結び付けて文章の内容に対する理解を深め、感想をもつことができたとしても、それを言語化し、書き表すことに難しさを見せる児童も多いと考える。

更に、読書に関してアンケートを行ったところ、読書が好きと答えた児童は60%だった。一方、教師や地域の読み聞かせクラブの方の読み聞かせが好きと答えた児童は90%いた。読み聞かせをしてもらうことは好きだが、自分で本を選び、読むことは難しい児童が多い。

### (3) 指導観

指導に当たっては、次のような手立てを講じることで、身に付けさせたい資質・能力を確実に身に付けられるようにしたい。

#### ① 事柄の順序の関係を理解するための手立て

教材文を読み、構造と内容を把握し、精査・解釈する学習過程において、事柄の順序の関係が理解できるよう、ビーバーがダムを作る作業手順を整理して書き込めるワークシートを作成する。その際、事柄の順序の関係の理解だけでなく、課題の一つである「文章の中の重要な語や文を選び出す」ことに対する手立てにもなるよう、ワークシートの構成を工夫する。

#### ② 文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつための手立て

構造と内容の把握、精査・解釈の学習過程でも自分の既存の体験と結び付けて文章の内容を理解できるよう、文章を読んで分かったことや文章の内容に対する感想を、毎時間「ビーバーすごいぞカード」に整理しながら学習を進める。カードには、「ビーバーの体の特徴とできること」「児童自身の既存の知識や経験と結び付けて分かったこと」「自分と比べたことで感じた、動物のすごいと思ったこと」が書けるようにしておく。文章を読み進めながら、児童がビーバーの巣作りの過程や体の特徴について「すごいな」「かしこいな」と感じた叙述には線を引いたり印を付けたりさせておく。

#### ③ 主体的に学習に取り組む態度を育むための手立て

児童が意欲的に学習活動に取り組めるよう、単元の冒頭で、教材文を読んで児童それぞれがもった問いを交流し、その問いに対する答えを探しながら文章を読み進めさせる。問いに対する答えとなる部分には線を引いたり印を付けたりしながら読ませることで、一つ一つの言葉に着目し、確実に内容が理解できるように留意したい。児童がもった問いのほかに、教師からも「なぜ、ビーバーの巣作りは「工事」ではなく「大工事」なのか」という問いを投げかけ、単元を通じて考えさせることで、教材文の題名と、教材文で説明されているビーバーの体の特徴や知恵を関連付けながら、文章の内容を正確に、楽しく読めるようにしたい。ビーバーの体の特徴と巣作りの手順のつながりが理解できにくい児童が多いことが予想されるため、問いの答えに当たる部分を叙述から探すだけでなく、体の特徴を「ビーバーのひみつ」として選び出させることで、第2学年の児童の、学びに対する意欲を持続させられるよう留意する。

また、自分で本を選び、楽しんで読書をするような読書習慣の形成には至っていないことから、複数の関連図書を指導者が選んで教室に常備し、いつでも並行読書ができるようにしておくとともに、教材文で学んだことを生かして並行読書した内容でも「すごいぞカード」を作成させることで、身に付けた資質・能力がさらに確かなものになるようにしたい。

自分で図書を選んだり、自分で叙述から重要な語や文を選び出したりする活動を通して、児童には自力でできたという達成感を味わわせ、この単元の学習以降も主体的に学習に向かうことができる態度の素地を醸成したい。

### 3 単元の目標

- 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕(2)ア

- 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア

- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	① 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 (C(1)オ)	① 進んで、文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、考えたことを文章にまとめようとしている。

<評価の具体及び手立て>

	評価規準【「おおむね満足できる」状況(B)】		「努力を要する」状況(C)と判断した児童への指導の手立て
知識・技能①	<p>・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>ワークシート</p> <p>ビーバーは自分や家ぞくのいのちをまもるために、すを作ります。まず、するどくて大きい歯で木を切りたおします。つぎに木をくわえたまま上手におよぎます。さらに木のどがった方を川のそこにさしこんで、その上に小えだをつみ上げていき、上から石でおもしろをして、どろでしっかりかためてダムをつくります。</p> <p>※ダムを作る作業手順に従って書きまとめさせる。</p>	<p>「努力を要する」状況(C)と判断した児童への指導の手立て</p> <p>題名「ビーバーの大工事」を想起させる。なぜこの順序で書かれているのか、巣をつくるための順序で書かれていることをおさえる。</p>
思考・判断・表現①	<p>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもっている。 (C(1)オ)</p>	<p>ワークシート</p> <p>すごいぞ！ビーバー！木を切りたおすことができるぞ！</p> <p>【体のひみつ】 上あごの「歯」を木のみきにあててささえにして、下あごの「するどい歯」で、ぐいぐいとかじっています。</p> <p>【思ったこと】 自分だったら木はかたくてかじることはできないから、ビーバーはとても歯の力が強くてすごいと思いました。</p>	<p>穴埋め式のワークシートを活用して自分の思いを書きやすくさせる。教材のビーバーの体の特徴を表す言葉に印をつけさせる。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>・進んで、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもち、学習活動に沿って、分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。</p>	<p>ワークシート・発言</p> <p>進んで教材文を読んで、友達や教師と交流した際に得た助言を踏まえて、試行錯誤しながら学習したと既習の体験を結びつけて自分の考えを文章で書き加えている姿。</p>	<p>教科書の挿絵と叙述を結び付けながら、ビーバーのすごいなと思ったところやおもしろいなと思ったところを探すように促す。教科書の本文だけではなく、並行読書も活用し、ビーバーのひみつを探させるようにする。</p>

5 指導と評価の計画（全12時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・評価方法 等
一	1 ・ 2	○ビーバーの巣の写真を見たり、ビーバーの巣作りの映像を見たりして、教材文を読むことへの意欲をもつ。 ○題名「ビーバーの大工事」から連想されることを出し合う。 ○指導者による教材文の範読を聞く。 ○教材文を読み、単元を通してみんなで考えたい問いを交流する。				
二	3 ・ 4	○教材文を読み、ビーバーがダムを作る手順を捉える。 手順①：木を切りたおす 手順②：ダムを作る 手順③：すを作る	○			[知識・技能①] <u>ワークシートの記述</u> ・ダムづくりの手順を、順序を表す言葉や接続詞に着目して内容の大体を捉えているかの確認
	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	○教材文を読んで、体の特徴とビーバーの様子を関連付け、「すごいで！ビーバー！○○ができるぞカード」に整理する。 ・「木を切りたおすビーバーの様子」 ・「ダムを作るビーバーの様子」 ・「すを作るビーバーの様子」（本時）  ○教材文全体を読んで、「すごいで！ビーバー！○○ができるぞカード」を完成させる。		○		[思考・判断・表現①] <u>ワークシートの記述</u> ・ビーバーの生態や体の特徴からどのようにしてダムや巣をつくっていくかを読み取り、そこから思ったことや感想を自分の言葉で表現しているかの確認  ○ [主体的に学習に取り組む態度①] <u>ワークシートへの記述の様子</u> ・自分で書いた「ビーバーすごいでカード」を友達と交流し、自分の思いを伝えているかの確認
三	9 ・ 10 ・ 11	○本や図鑑から自分で動物を選び、ひみつを見付ける。「すごいで！○○！△△ができるぞ！」カードを作る。  ○クラスで自分が選んだ動物ブックをしょうかいする。(写真と文章)				※指導に生かす評価（主に、これまでの学習において「努力を要する」状況にあると評価した児童の学習状況の再確認）に留める。
四	12	○学習のまとめをする。				

6 本時の学習

(1) 本時の目標

ビーバーが作る巣の様子を、ダムを作る目的と関係付けて読み取り、思ったことや考えたことを自分の既宧の体験と結び付けて表現することができる。

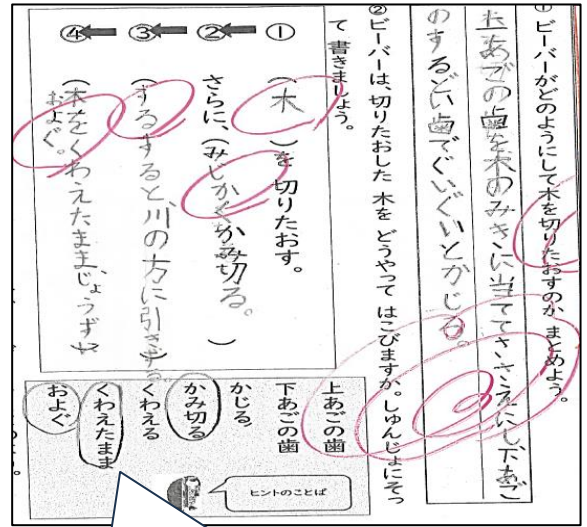
(2) 学習の展開

学習活動	<p>○指導上の留意点 □主な発問 ・予想される児童の反応</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	評価規準 (評価方法)
<p>1 前時までの学習を想起する。 【全体】</p> <p>2 本時のめあてを設定する。 【全体】</p>	<p>○ビーバーの体の特徴を教科書の挿絵を基に考え、それらの体の特徴を使ってダムを作っていることをおさえることで、ビーバーの「すごいこと」に着目し、めあてに迫れるようにする。</p> <p>□ビーバーはどんな体の特徴があったかな。 ・ビーバーはするどい歯で木を切り倒しているよ。 ・しっぽはオールのような形になっていて上手におよぐことができるんだね。</p> <p>◆教科書の挿絵や掲示を見ながら、ビーバーが自分の体や知恵を使って巣作りをしていることをおさえる。</p> <p>○ビーバーの巣作りやダムづくりで「すごいな」「かしこいな」と思うことを自分の既宧体験と関連付けて書くようにする。</p>	
<p>㊦ すを作るビーバーを読んで「すごいな」と思ったことをカードに書こう。</p>		
<p>3 教材文を音読する。</p> <p>4 ビーバーがダムを作る理由を巣の様子と関連付けて考える。</p> <p>5 巣をつくるビーバーの「すごいな・かしこいな」と思うところをカードにまとめる。</p> <p>6 本時のまとめ・振り返りをする。</p>	<p>○巣の様子について書かれている部分に線を引いてから発表させる。</p> <p>◆ダムの作り方と比較し、木や石などの絵を提示しながら巣の作り方を確認する。</p> <p>○これまでの大工事は、安全な巣を作ることに繋がっていることに気付かせる。</p> <p>○自分の既宧体験と結び付けて、ビーバーも人間と同じで知恵を使って安全な巣を作っているということに気付かせる。</p> <p>◆天敵である熊がビーバーの巣の上に乗っている写真を提示し、大きな動物が襲ってきても壊れることがない丈夫な巣であること、命を守る巣を作っているビーバーのすごさを実感させる。</p> <p>◆穴埋め式のワークシートを活用して自分の思いを書きやすくさせる。</p> <p>○前時までの学習と関連付けて、ビーバーの大工事のひみつを見付けることができたことで、自己の学びにつなげる。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもっている。【思・判・表】 (ワークシート)</p>



イ 学習した内容とワークシートの対応

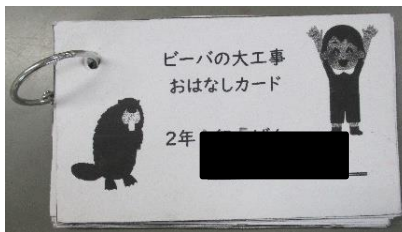
- 授業内で児童が見付けたビーバーの体の特徴やビーバーのすごいな、かしこいなと思う言葉を教室に掲示して、学習中、児童がいつでも確認できるようにした（写真左）。さらに、児童が授業で見付けたビーバーの生態に関する言葉をワークシートに記載し、自分の考えを書く際にそれらの言葉を使って表現することができるようにした。（写真右）



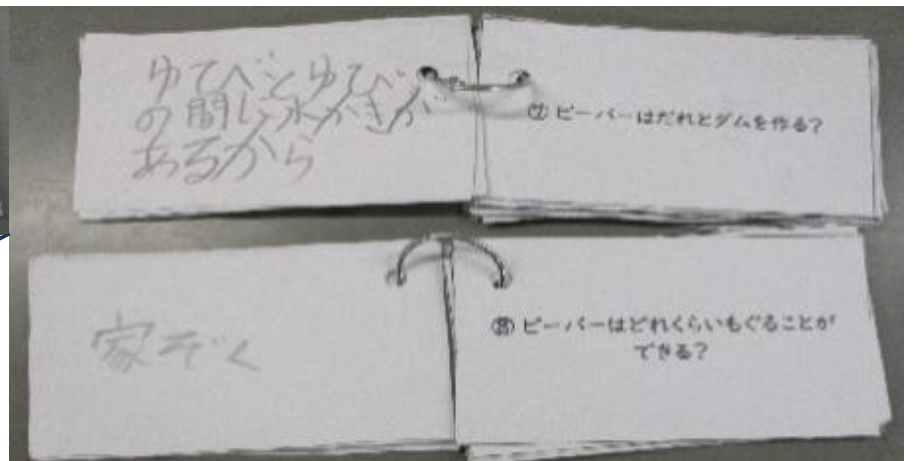
ワークシートに児童と一緒に見付けた「ビーバーの体の特徴」を表す言葉を載せることで、教科書から大事な語や文を考えて選び出すことが難しい児童も、自分で選ぶことができるようにした。

(2) 児童のつまずきと実際に講じた手立ての具体

- 本教材には「のみ」や「夜中」など、児童にとって聞きなじみのない言葉が多くあった。そこで教科書の挿絵を使って道具の使い方を確認し、算数科「時くと時間」の学習と関連付けて、「夜中」は私たちが寝ている時間であるなど、具体的に日常生活と関連付けて言葉の正しい意味を理解しながら学習を進めた。
- 教科書の内容や言葉を正しく使って自分の考えを書いたり話したりすることが難しい児童がいた。そこで「ビーバーおはなしカード」（ビーバーの生態や巣作りのポイントをまとめたもの）を作成し、問題に対する問いを教科書の中から正しく抜き出す学習を毎時間行った。ビーバーの巣作りで大切なことを短い言葉で抜き出す活動を通して、授業で自分の思いや考えを書くヒントになるようにした。また、児童同士で問題を出し合い、ビーバーの巣作りで大切なことや手順を確認することができるように支援した。



問題に対する答えをカードの裏に記入し、問題の出し合いをした。児童同士で問題を出し合うことで、正しい答えを一緒に考えることができるようにした。





## (2) 児童の評価

本単元を終えて、「事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。」における「十分満足できる」状況（A）の児童は16人、「おおむね満足できる」状況（B）の児童は15人、「努力を要する」状況（C）の児童は4人だった。また、「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。」における「十分満足できる」状況（A）の児童は12人、「おおむね満足できる」状況（B）の児童は18人、「努力を要する」状況（C）の児童は5人だった。さらに、「進んで、文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもち、学習活動に沿って、分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。」における「十分満足できる」状況（A）の児童は13人、「おおむね満足できる」状況（B）の児童は20人、「努力を要する」状況（C）の児童は2人だった。

## 9 成果と課題

### (1) 成果

- ・ 単元を通して、題名に着目し、「なぜ工事ではなく、大工事なのか。」を考えさせた。ビーバーの行動が、結果的に安全な巣やダムを作ることにつながっていることに気付かせるために、ビーバーの生態や特徴など、大事な言葉に○を付けさせた。自分の既有体験と結び付けるために、「自分と比べてみたら？」や「自分にはできないけれどビーバーができる場所はどんなところ？」と問うと、児童も自分のこれまでの生活や経験と結び付けながら、ビーバーのすごいところ・かしこいところを考えて自分の言葉で表現することができた。
- ・ 本時では、「ビーバーのかしこいと思う言葉を探しながらダム作りの様子をまとめていこう。」と問うことで、今までの巣作りが安全なダム作りへつながっていることを理解しながら、巣作りの様子を教科書に載っているビーバーの生態や体の特徴を表す言葉を使って説明することができる児童が多かった。自分の既有体験や考えと比較しながら、ビーバーのすごさを言葉で表現する児童が多くいた。

### (2) 課題

- ・ 自分の言葉で上手に表現することが難しい児童に対して、教科書の挿絵を活用してダム作りの順序を理解させたり、言葉の意味を理解するために動作化させたりすれば、ビーバーのかしこさや生態を正確に理解することができたのではないかと考える。日頃の授業から言葉の意味にこだわって授業を進めたい。

### (3) 今後に向けて

- ・ 次の単元が「どうぶつ図かんをつくらう」という単元であり、自分で選んだ動物についてくらしや生態の特徴についてまとめていく学習であったため、本単元と並行して並行読書を行うことで、他の動物についても理解や関心を深めることができた。
- ・ 教材文を読んで、大事な言葉を見付けることはできるようになってきているが、自分の力で文章を書くことが難しいと感じている児童がいた。日頃の授業から、文章の大事な箇所に線を引いたり、「いつ・どこで・だれが・なにをした」を表に整理したり、文章を読んで思ったことを一言メモする活動を取り入れていくなど、自分の思いや考えを書く機会を取り入れていく。

付録 選書リスト

書名	著者名	出版社名
こんにちは、ビーバー	佐藤英治／文・写真	福音館書店
どうぶつの赤ちゃんとおかあさん ラッコ	スージー・エスターハス／著 成島悦男／監修 渋谷弘子／訳	さ・え・ら書房
もぐらはすごい	アヤ井アキコ／作 川田伸一郎／監修	アリス館
クルミの森のニホンリス	福田幸広／写真 ゆうきえつこ／文	小学館
DVD付き どうぶつ大図鑑	成島悦雄／監修	永岡書店